

内子The文楽 2026 ご案内

令和8年10月17日 土曜日

午前の部 11時開演 12時終演
午後の部 15時開演 16時終演

内子町立大瀬中学校 音楽ドーム
愛媛県喜多郡内子町大瀬中央5880番地

観劇料 一席 5,000円
※1公演につき70席限定

内容 文楽三業の解説
演目「関寺小町」
～『花競四季寿』より



写真 滝澤めぐみ

令和8年10月18日 日曜日

11時 開演 12時30分終演

護国山「高昌寺」

愛媛県喜多郡内子町城廻117番地

観劇料 一席 5,000円 ※115席限定

内容 演目「恋女房染分手綱」
～重の井子別れの段」
文楽トーク



武内陶子
司会・聞き手



吉田和生
人形遣い
他



鶴澤燕三
三味線



豊竹藤太夫
太夫

主な出演者

◆ 10月17日土曜日公演

せきでらこまち ✿ 「関寺小町 ~ 『花競四季寿』 より」

あらすじ

舞台は秋の野。日没近くの黄昏時です。いかにも荒んだ小高い丘に老婆が一人佇んでいます。その老婆は、かつて天下第一の美女とうたわれた小野小町。今では百歳近い老女となり、昔の面影はもはやありません。老いた小町は、若き日に宮中で栄華を極め、多くの人々を魅了した頃を懐かしく思い出します。

人形は背を丸め、ゆっくりと歩みながらも、ふとした首の角度や袖の扱いに、かつての美貌と教養を感じさせます。そこに文楽独特の繊細な所作の美があります。

浄瑠璃も太夫の格調高い語りと三味線の繊細な響きが、老いた小野小町の気品と哀愁を描きます。秋の風情あふれる静かな音楽美と、豊かな余韻を音楽のための空間で味わってみてはいかがでしょうか。

◆ 10月18日日曜日公演

こいようぼうそめわけつな しげのいこわかれのたん ✿ 「恋女房染分手綱 ~ 重の井子別れの段」

あらすじ

丹波の大名・由留木家(ゆるぎけ)の姫君の調姫(しらべひめ)は、政略結婚のため関東へ向かうこととなります。まだ幼い姫は、両親と別れて旅立つのを嫌がり、「行きたくない」と駄々をこねます。そこで呼び込まれたのが、「三吉(さんきち)」という、馬子(まご)の少年。三吉は道中双六(どうちゅうすごろく)を面白おかしく語って聞かせ、姫の機嫌を直します。

その三吉を見た乳母(めのと)の重の井は、驚きます。三吉こそ、かつて愛した与作との間に生まれた実の息子だったからです。しかし重の井は、大恩ある主家に仕える身。輿入れを前にした姫に乳兄弟に身分の低い子がいると知られては縁談やお家の体面に関わってしまいます。母と名乗りたい。抱きしめたい。けれどそれは許されない――。

重の井は涙をこらえ、わが子に名乗ることもなく別れを告げます。三吉もまた事情を察し、泣きながら去っていくのでした。名乗れない母とその事情を幼いながらに察する実の息子。再会と呼ぶには余りにも哀しい親子の姿を、太夫、三味線、人形の三位一体で表現します。

人形浄瑠璃文楽の中でも人気の高い名作を秋のひとつときお楽しみください。

◆ 申込方法

往復ハガキにてお申込みください。
ハガキ1枚で2名様まで受け付けます。
応募多数の場合、抽選となります。

詳細は内子町ホームページ
をご覧ください。



問合せ先

内子座文楽実行委員会事務局
TEL 0893 (44) 2114

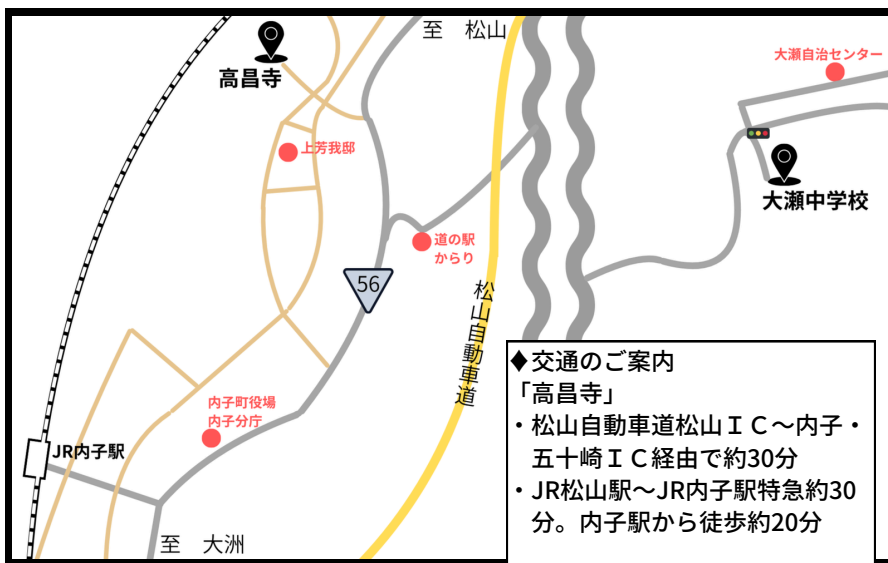
主催

内子座文楽実行委員会、内子町、内子町教育委員会

制作協力 文楽協会

後援

愛媛県、愛媛県教育委員会、公益財団法人愛媛県市町振興協会、愛媛県指定文化財文楽保存協議会、一般社団法人愛媛県観光物産協会、一般社団法人内子町観光協会、内子町文化協会、内子町文化創造事業実行委員会、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛新聞社、読売新聞松山支局、朝日新聞松山総局、毎日新聞松山支局、日本経済新聞社松山支局、産経新聞社、日本航空株式会社松山支店



- ◆ 交通のご案内
- 「高昌寺」
- 松山自動車道松山 I C ~ 内子・五十崎 I C 経由で約30分
 - JR松山駅 ~ JR内子駅特急約30分。内子駅から徒歩約20分
- 「大瀬中学校」
- 松山自動車道松山 I C ~ 内子・五十崎 I C 経由で約40分
 - JR松山駅 ~ JR内子駅特急約30分。内子駅から車で約10分